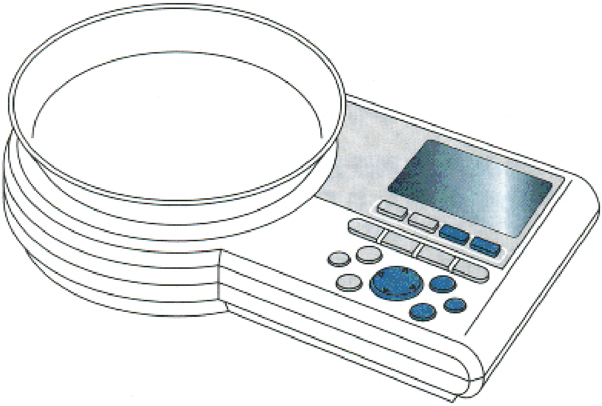
家庭用

TANITA

カロリースケール
TCK-003

取扱説明書



このたびは、タニタ「カロリースケール」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。正しくお使いいただくために、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになられた後も大切に保管してください。本器は、精密機器につき絶対に分解しないでください。

⚠ この取扱説明書は必要なときに、すぐに取り出して読めるようにできる限り身近に、大切に保管してください。この取扱説明書をよく読んで理解してから、製品を使用してください。

はじめに

“飽食の時代”といわれる今日、生活習慣が原因とされている肥満症をはじめ糖尿病、高血圧症、心疾患など様々な病気を引き起こす生活習慣病が多く見られ、“1億総半病人時代”などといわれるようになりました。
これらは、生活習慣、とりわけ食習慣の悪化によってもたらされます。食習慣でいちばん問題になるのは、自分が何をどのくらい食べて良いか解らないためにカロリーの取り過ぎや、偏った栄養の取り方をしていることです。
肥満症・生活習慣病の予防および治療は、食事の正確な計量から始まるといっても過言ではありません。しかし、「食品成分表」を使って栄養価計算するのは、専門家でもなかなか骨の折れるものです。
そこで『もっと簡単にカロリー計算をしたい』というお客様のニーズにお応えして開発されたのが、このカロリースケール『TCK-003』です。
いつまでも健康で長生きしていただくために、この『TCK-003』をご愛用ください。
なお、資料としまして科学技術庁資源調査会「四訂日本食品標準成分表」「五訂日本食品標準成分表一新規食品編一」、厚生省保健医療局健康増進栄養課「日本人の栄養所要量」、および弊社ベストウェイトセンターのデータを引用・使用させていただきました。

■本器の特徴と機能

■本器は家庭でより簡単にカロリー計算をしていただくために下記のような便利な機能をつけました。

○食品700品目、料理500品目（別冊子参照）
○食品・料理名があらかじめ入力されてあり、名称をカナ検索し決定するだけ（⇨ 14ページ）
○1日当たりの個人必要カロリーの表示（⇨ 12ページ）
　＊総カロリーと5グループカロリー量の表示
○総カロリーと5グループカロリーによる栄養バランス表示（⇨ 22ページ）
　＊個人必要カロリー量との過不足量表示
○料理の場合は、重さだけでなく食べた分量（%）ではかれる（⇨ 18ページ）
○カロリー⇔点数表示の切替（⇨ 15ページ）
○任意カロリー量の手動入力（⇨ 23ページ）
○はかりは高精度、最大計量1,000g、最小目量1g（100gまで）表示
○容器の重さがワンタッチで差し引きできる風袋引き計量、追加計量ができる

もくじ

はじめに……2
本器の機能と特徴……2
もくじ……3
安全上のご注意……4
正しいはかりかたとお願い……5
準備しましょう(1) 各部の名称と働き……6
準備しましょう(2) 乾電池を入れます……8
準備しましょう(3) 個人設定の登録……10
必要カロリーの確認……12
使ってみましょう(1) カロリーの計量……14
使ってみましょう(2) はかりとしての使い方/単位の切り換え……15
便利な使い方(1) 風袋引き計量(容器の重さを差し引いた計量)……16
便利な使い方(2) 分量入力による計量 (%入力)……18
もっと便利な使い方(1) メモリー加算・減算……20
もっと便利な使い方(2) メモリー呼び出し……22
もっと便利な使い方(3) カロリー手動入力……23
もっと便利な使い方(4) メモリー消去……24
知っておくと便利なこと……25
アフターサービスについて……26

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

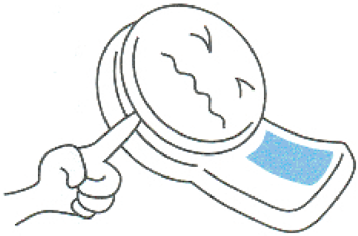
⚠注意	**この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。**
！	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠注　意

平らで、すべらない安定した場所で使う

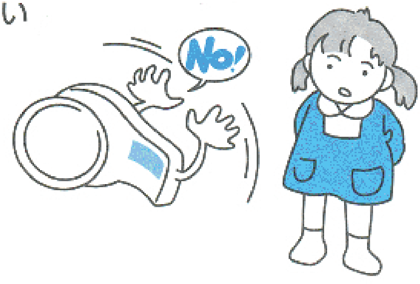
転倒の危険があります。

隙間や穴に指を入れない



ケガをする恐れがあります。

乳幼児には絶対に持ち運びさせない



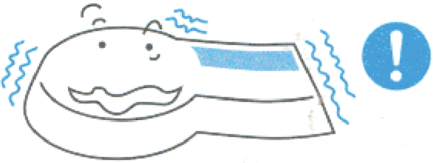
落としてケガをする恐れがあります。

電池交換のとき⊕ ⊖ の極の方向を正しく入れる

間違えると、乾電池の破裂、発熱、液漏れによる火災やケガ、火傷の原因になります。長期間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から取り外してください。

正確にはかるために

振動の少ない場所に設置する
測定できない場合があります。



精度を保つために

本器は精密に作られています。最良の状態を保つために、次のことを守り、ご使用ください。

設置について

- 直射日光の当たる場所や、熱器具の近く、または空調機の風が直接当たる所には置かない。
- 温度変化の激しい場所での使用は避ける。
- 湿気の多い場所や水気のある所に置かない。

取扱いについて

- 絶対に分解しない。
- 絶対に水洗いしない。
- 過度の衝撃や振動を与えない。
- 古い乾電池との混用はしない。乾電池を取り替えるときは、6本とも新品の単3乾電池（R6P）と交換してください。

収納について

- 振動の激しい所に保管しない。

お手入れについて

- 熱湯、ベンジン、シンナー等は使用しない。汚れたときは水または家庭用中性洗剤を湿した布で拭き、その後乾いた布で拭き取ってください。

設定及びご利用上のご注意

＊本器は日本の一般男女及び小学生以上の子供を対象にしています。5歳以下の幼児の方及び妊婦・授乳婦の方は、“必要カロリー量”の設定ができません。『日本人の栄養所要量』（厚生省保健医療局健康増進栄養課監修）をご参照ください。

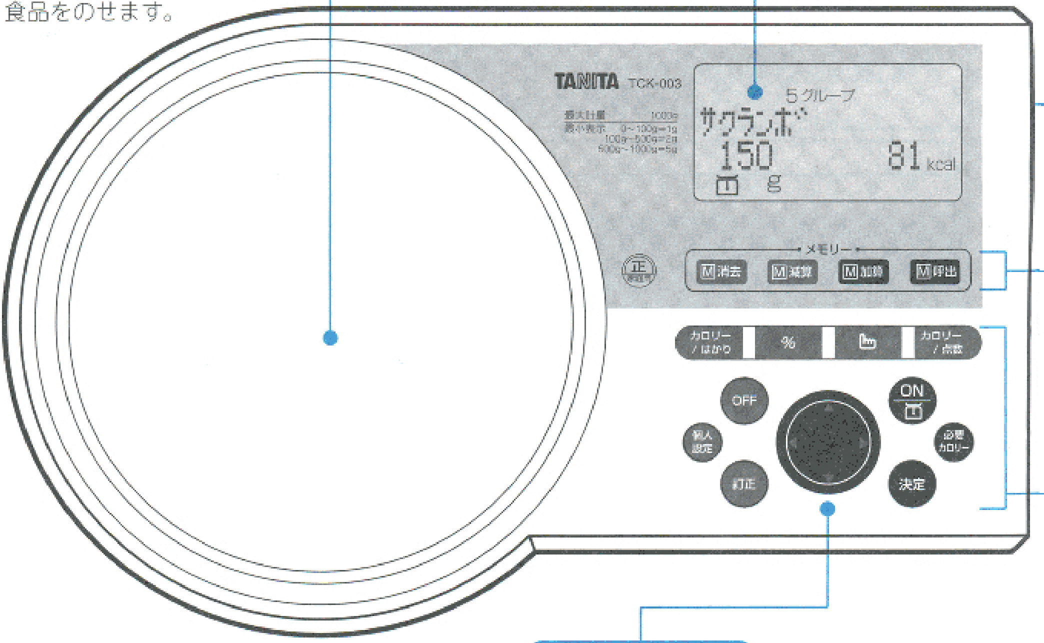
＊本器をご使用し、ダイエットされる場合、過度のカロリー減量は健康を損ねます。専門のお医者さんもしくは弊社お客様サービス相談室にご相談ください。

■各部の名称と働き

計量皿

食品をのせます。

表示部



十字キー

上下(▲▼)キー

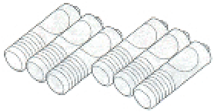
食品・料理名の選択や個人設定データカロリーの入力に使用します。

左右(◀▶)キー

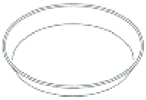
食品・料理名の検索・選択などに使用します。

附属品の確認を

□ 乾電池(単3:6本)



□ 小皿



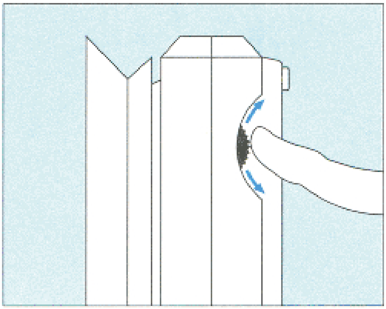
□ 取扱説明書

□ 食品・料理名ブック

□ 保証書・アンケートハガキ

コントラスト調整

表示画面のコントラストの調整をします。



メモリーキー

M消去キー　：メモリーされた内容を消去します（⇨ 24ページ）。
M減算キー　：カロリー値をメモリー内から減算します（⇨ 20ページ）。
M加算キー　：カロリー値をメモリー内に加算します（⇨ 20ページ）。
M呼出キー　：メモリー内のカロリー値を呼び出します（⇨ 22ページ）。

操 作 キ ー

カロリー/はかり キー
：モードの切り換えに使用します（⇨ 15ページ）。

% キー　：分量入力に使用します（⇨ 18ページ）。

キー　：カロリーを手動で入力するときに使用します（⇨ 23ページ）。

カロリー/点数 キー
：エネルギー単位の切り換えに使用します（⇨ 15ページ）。

OFF キー　：電源のOFFに使用します。

個人設定 キー
：個人設定（性別/年令/身長/体重/生活強度）に使用します（⇨ 10ページ）。

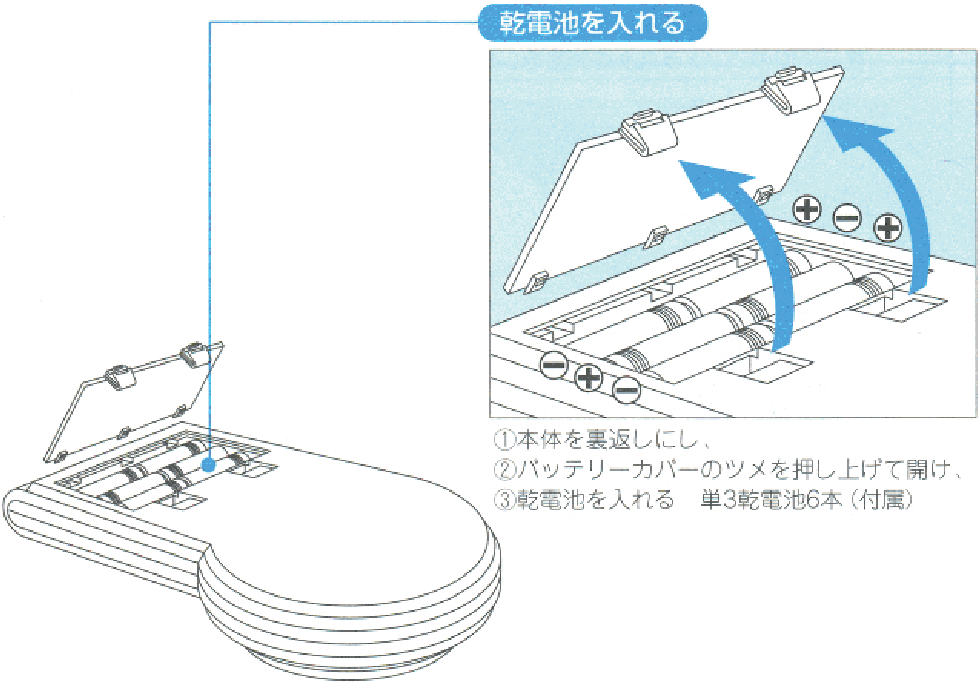
訂正 キー　：入力を訂正するときに使用します。

ON/ キー　：①電源のONに使用します。②風袋引計量に使用します。

必要カロリー キー
：個人設定より算出した1日の必要カロリーの表示に使用します（⇨ 12ページ）。

決定 キー　：入力の決定に使用します。

■乾電池を入れます



①本体を裏返しにし、
②バッテリーカバーのツメを押し上げて開け、
③乾電池を入れる　単3乾電池6本（付属）

乾電池の交換

●乾電池が消耗してくると
画面に"デンチ ヲ コウカン シテクダサイ"と表示されたら、速やかに単3乾電池（6本）を交換してください。（精度の保証ができません）また、アルカリ乾電池とマンガン乾電池の併用はおやめください。（液モレなどにより、故障の原因になります）

●乾電池の寿命は
乾電池の寿命は約6ヶ月です。（1日1回60分使用した場合）

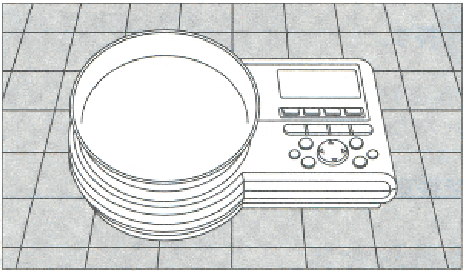
●登録した個人設定は
乾電池を外しても、内容は消えません。

●付属の乾電池の寿命
工場出荷からお客様のお手もとに届くまでの期間が長い場合 寿命が短くなることがあります。

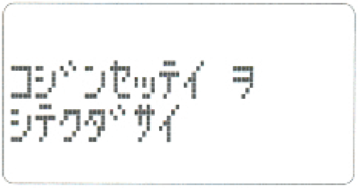
⚠注意 乾電池を入れる時、⊕、⊖**極の方向を十分注意**してください。間違えると、液もれ等により汚損する原因となることがあります。**長期間ご使用にならないときは本体から外して**ください。

■本体の設置

平らで、安定した場所でご使用ください。



■個人設定の登録

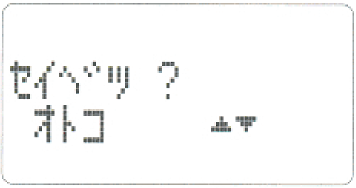


1. 電源を入れる。

ON を押す。

※はじめてお使いになる場合や、個人設定されていない場合、左の画面が表示されます。

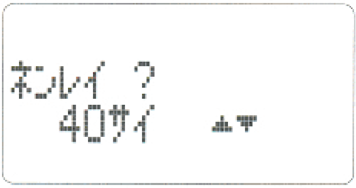
個人設定 を押す。



2. 性別を選択する。

▲または▼を押す。

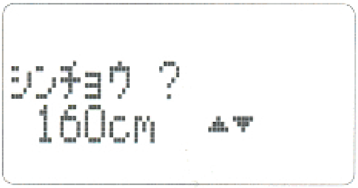
登録する方の性別に合わせ 決定 を押します。



3. 年令を選択する。

▲または▼を押す。

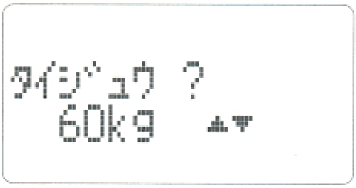
※押し続けると5歳ずつ変わります。
登録する方の年令に合わせ 決定 を押します。



4. 身長を選択する。

▲または▼を押す。

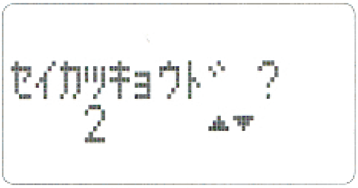
※押し続けると5cmずつ変わります。
登録する方の身長に合わせ 決定 を押します。



5. 体重を選択する。

▲または▼を押す。

※押し続けると5kgずつ変わります。
登録する方の体重に合わせ 決定 を押します。



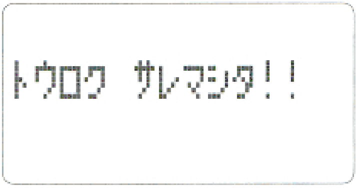
6. 生活強度を選択する。

▲または▼を押す。

登録する方の生活強度に合わせ 決定 を押します。

※ 生活強度については『生活強度について』をご覧ください。

※ 必要カロリー表示を確認するときは、必要カロリー を押してください。（⇨ 12ページ）



※ 入力を間違えた場合は、個人設定 を押し、2（性別を選択する）から再度選択してください。

※ 個人設定は1人だけ登録可能です。2人目の設定を行うと、設定されていた登録内容は消えてしまいます。

《生活強度について》

バランスのよい食事が、健康や減量に大切なことは分かっていても、「何をどれだけ食べれば、体にちょうどよいか」は難しい問題です。厚生省では、年令・性別・体の動かし方から日本人の必要カロリー量を決めています。下の表を目安にご確認ください。

生活強度	日常生活の内容
1 （軽い）	運動、買い物など1時間程度の歩行と軽い手作業や家事などによる立位のほかは大部分座位で事務、勉強、談話等をしている場合。
2 （中程度）	通勤、買い物のほか仕事などで2時間程度の歩行と事務、読書、談話による座位のほか機械操作、接客、家事等による立位時間の多い場合。
3 （やや重い）	農耕、漁業、建築などで座位、立位、歩行のほか、1日のうち1時間程度は重い筋作業に従事している場合。
4 （重い）	1日のうち2時間程度は激しいトレーニングとか木材の運搬、農繁期の農耕作業などのような重い筋作業に従事している場合。

■必要カロリーの確認

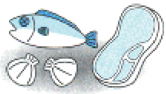
必要カロリーとは、性別、年令、身長、体重、生活強度からタニタベストウェイトセンターが出した、1日に必要なエネルギー摂取量のことです。
本器では、簡単に1日の必要カロリーの合計と、グループ5のバランスを確認できます。

《ベストウェイトグループ5とは》

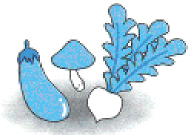
毎日の暮らしの中で実行しやすく「ダイエットに最適な食事法」を、それがベストウェイトグループ5です。1日の指示エネルギーは決められていますが、健康な身体を維持するのに必要な栄養素は、過不足なく摂取できるのが特色です。バランスよく食べる、必要以上に食べない食生活のポイントを、自分でコントロールできるようになる、健康的な食事法といえます。
栄養素の特色を基に食品を5つのグループに分類し、果物や菓子などの嗜好食品も範囲内で上手に生活の中に取り入れましょう、という長期的に続けやすい方法です。

① グループ
栄養を完全にする食品グループ。日本人に不足しがちなカルシウムの他、良質のタンパク質や各種のビタミンなどを含む。

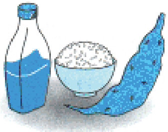
② グループ
筋肉や血液を作る食品グループ。良質の蛋白質をメインに脂質,ビタミンA・B_1・B_2を含む。



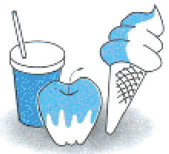
③ グループ
身体の調子をよくする食品グループ。ビタミン、ミネラル、カロチン、食物繊維を含む。

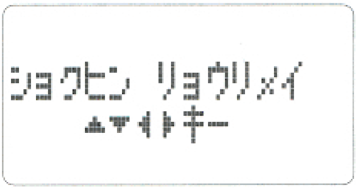


④ グループ
力や体温のもとになる食品グループ。主に糖質や脂肪を含む。



⑤ グループ
食生活を楽しくする食品グループ。果物は糖質、ビタミン、ミネラルを含む。**肥満の人が日常よく食べるもの**で菓子やアルコールは高カロリーのものが多いので要注意。

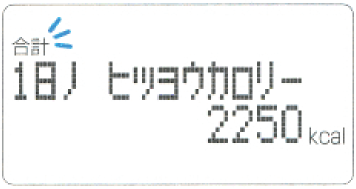


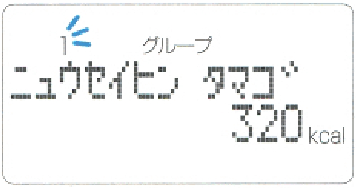


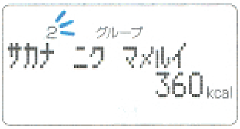
1. 電源を入れる。

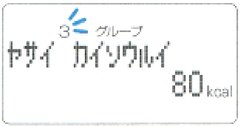
[ON] を押す。

※ 個人設定されていないと必要カロリーは表示されません。
個人設定の登録（⇨ 10ページ）をしてください。









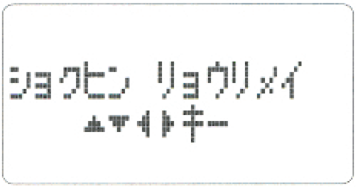
2. 合計必要カロリーを表示させる。

[必要カロリー] を押す。

登録されている個人設定データより算出された、合計必要カロリーを表示します。

[必要カロリー] を押す。

キーを押すごとに、表示内容が1グループ、2グループ…と変わり、それぞれのグループでの必要カロリーを表示します。



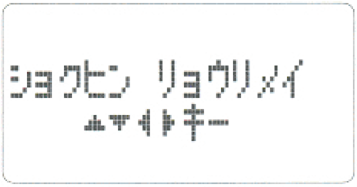
3. 必要カロリーの確認を終了する。

[ON] を押す。

通常モード（摂取カロリー計モード）に戻ります。

※ どのステップからでも通常モード(摂取カロリー計)に戻ります。

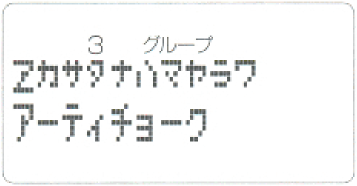
■カロリーの計量



1. 電源を入れる。

ON を押す。

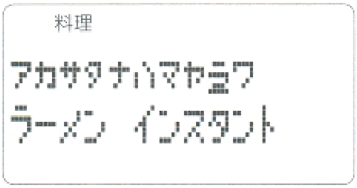
※ 個人設定されていれば、左の表示をします。



2. 食品・料理名を選択する。

▲▼◀▶のいずれかを押す。

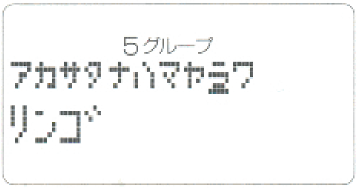
食品·料理名選択モードになります。



◀または▶を押す。

選択したい食品·料理名の頭文字までカーソルを移動させます。

例：リンゴを選択したい場合､｢ラ｣にカーソルを合わせます。

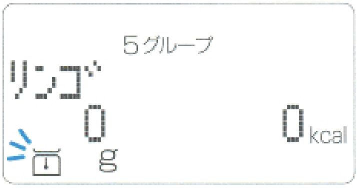


▲または▼を押す。

選択したい食品·料理名を表示させ 決定 を押します。

※ 選択を間違えた場合は、 を押し､2（食品・料理名を選択する）からやり直してください。

※ ▲▼◀▶はそれぞれ､押し続けると高速に移動します。



3. 食品・料理をのせる。

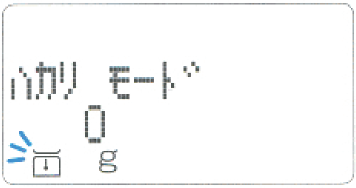
8888 を表示後、0 になったら食品をのせてください。 マークは点滅しています。

※カロリーは､小数点以下四捨五入で表示されます。

4. 別の食品・料理を計量する場合。

を押すと2（食品·料理名を選択する）に戻ります。

■はかりとしての使い方

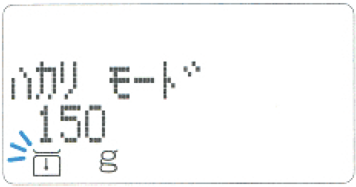


1. はかりモードにする。

カロリー/はかり を押す。

『ハカリモード』が表示されます。

8888 を表示後、0 が表示されます。



2. 計量物を計量皿にのせる。

重さだけが表示されます。

マークは点滅しています。

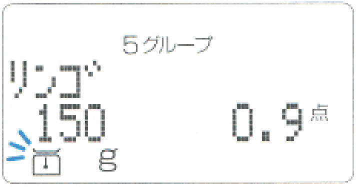
3. 摂取カロリー計に戻す場合。

もう1度 **カロリー/はかり** を押してください。

■単位の切り換え

単位は、いつでも切り換えることができます。(80kcal=1点)

例) リンゴ150g／75kcal　の場合



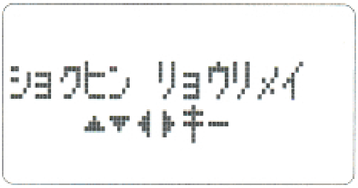
1. 単位の切り換えモードにする。

カロリー/点数 を押す。

カロリー表示から点数表示、点数表示からカロリー表示へ切り換ります。

※ 点数表示の場合は、小数点第2位以下は四捨五入され表示されます。

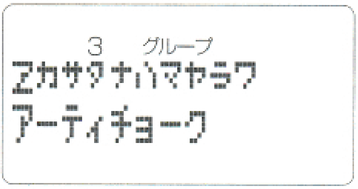
■風袋引き計量（容器の重さを差し引いた計量）

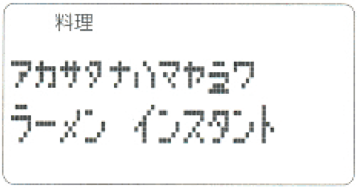


1. 電源を入れる。

ON を押す。

※個人設定されていれば、左の表示をします。





2. 食品・料理名を選択する。

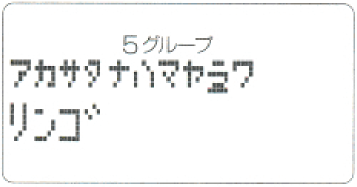
▲▼◀▶のいずれかを押す。

食品・料理名選択モードになります。

◀または▶を押す。

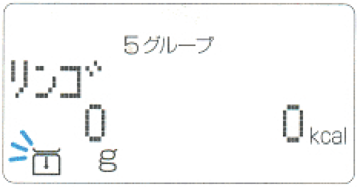
選択したい食品・料理名の頭文字までカーソルを移動させます。

例：リンゴを選択したい場合、「ラ」にカーソルを合わせます。



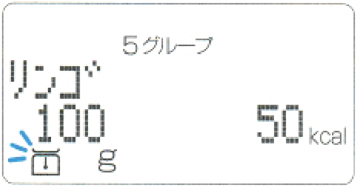
▲または▼を押す。

選択したい食品・料理名を表示させ 決定 を押します。



※選択を間違えた場合は、 を押し、2（食品・料理名を選択する）からやり直してください。

※ ▲▼◀▶はそれぞれ、押し続けると高速に移動します。

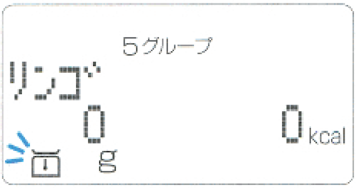


3. からの容器をのせる。

8888 を表示後、0 になったら、からの容器をのせてください。

（例：容器の重さが100gの場合）

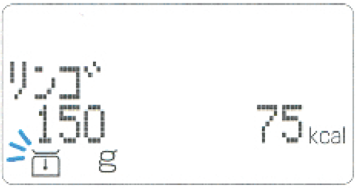
マークは点滅しています。



を押す。

重さとカロリーの表示が 0 にもどります。

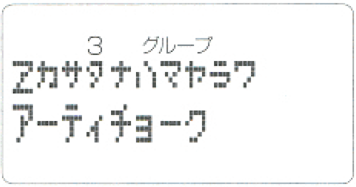
マークは点滅しています。



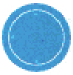
4. 計量物を容器にのせる。

計量物をのせると、計量物だけの重さとカロリーが表示されます。

※ カロリーは、小数点以下四捨五入で表示されます。



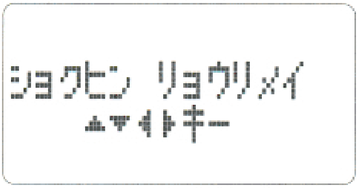
5. 別の食品・料理を計量する場合。


を押す。

2（食品・料理名を選択する）に戻ります。

■分量入力による計量(%入力)

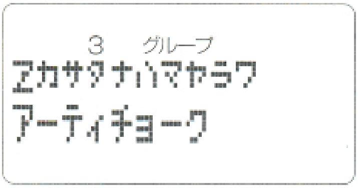
※分量入力は**料理名**を選択したときのみ可能です。

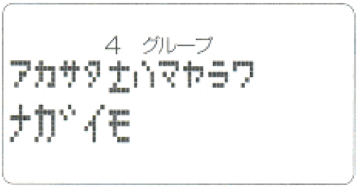


1. 電源を入れる。

ON を押す。

※ 個人設定されていれば、左の表示をします。





2. 料理名を選択する。

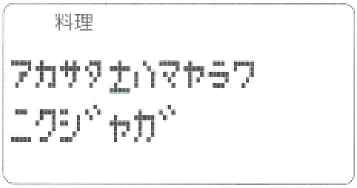
▲▼◀▶のいずれかを押す。

食品・料理名選択モードになります。

◀または▶を押す。

選択したい料理名の頭文字までカーソルを移動させます。

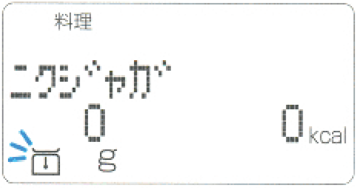
例：ニクジャガを選択したい場合、「ナ」にカーソルを合わせます。



▲または▼を押す。

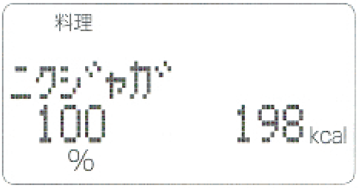
選択したい料理名を表示させ 決定 を押します。

※ 選択を間違えた場合は、 を押し、2（料理名を選択する）からやり直してください。



8888 を表示後、 0 が表示されます。

マークは点滅しています。



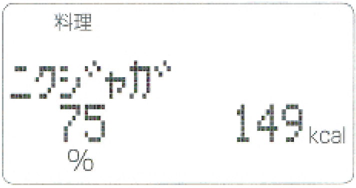
3. 分量入力（%入力）モードを選択する。

％ を押す。

分量入力（%入力）計量に変わります。

％ を押すごとに100%→75%→50%→25%→200%と数字が変化します。

※ 100%は1人前、200%は2人前です。



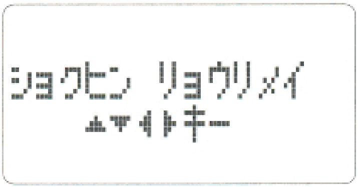
4. 分量入力（%入力）計量を解除する場合。

ON を押してください。

もっと便利な使い方（1） メモリー加算・減算

■メモリー操作：メモリー加算・減算

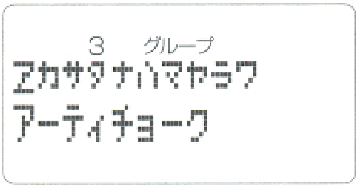
メモリー加算は食べた食品のカロリーの合計を出します。メモリー減算は食べきれなかったとき、メモリー内容から差し引きます。



1. 電源を入れる。

ON を押す。

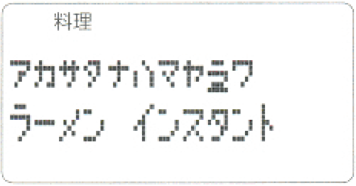
※個人設定されていないとメモリーできません。



2. 食品・料理名を選択する。

▲▼◀▶のいずれかを押す。

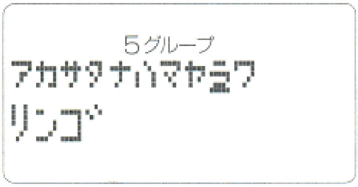
食品・料理名選択モードになります。



◀または▶を押す。

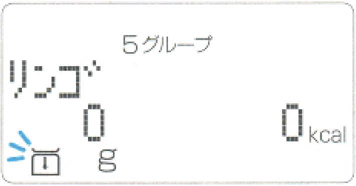
選択したい食品・料理名の頭文字までカーソルを移動させます。

例：リンゴを選択したい場合、「ラ」にカーソルを合わせます。



▲または▼を押す。

選択したい食品・料理名を表示させ 決定 を押します。



※選択を間違えた場合は、 を押し、2（食品・料理名を選択する）からやり直してください。

※ ▲▼◀▶はそれぞれ、押し続けると高速に移動します。

3. 食品をのせる。

8888 を表示後、0 になったら食品をのせてください。マークは点滅しています。

※カロリーは、小数点以下四捨五入で表示されます。

4. メモリー加算(減算)する。

M 加算 (M 減算)を押す。

メモリーに加算(減算)されると『加算済』(『減算済』)が表示されます。

※入力を間違えた場合は、『加算済』(『減算済』)が表示されている間に 訂正 を押すと、メモリー内容は前の状態に戻ります。

※計量値(g)が4g以上変化したり、キーが押されたりすると、『加算済』(『減算済』)が消えて訂正できなくなります。

5. メモリー加算(減算)を終了する。

食品を計量皿から下ろすと『加算済』(『減算済』)が消えてメモリー加算(減算)が終了します。他の食品の計量時もメモリー内容が0以外の場合、M マークが点灯します。

【ご注意】

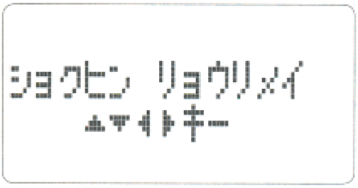
※グループのメモリーは“0”以下にはなりません。

※合計で99,990kcalまでメモリーできます。

※料理の場合、各グループのカロリーデータがメモリーされます。

■メモリー操作：メモリー加算・減算

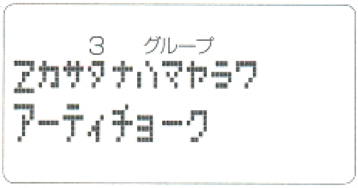
メモリー加算は食べた食品のカロリーの合計を出します。メモリー減算は食べきれなかったとき、メモリー内容から差し引きます。



1. 電源を入れる。

ON を押す。

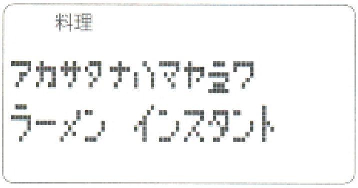
※ 個人設定されていないとメモリーできません。



2. 食品・料理名を選択する。

▲▼◀▶のいずれかを押す。

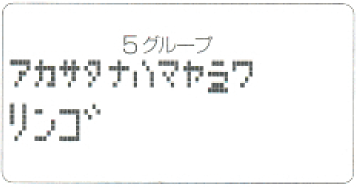
食品・料理名選択モードになります。



◀または▶を押す。

選択したい食品・料理名の頭文字までカーソルを移動させます。

例：リンゴを選択したい場合、「ラ」にカーソルを合わせます。

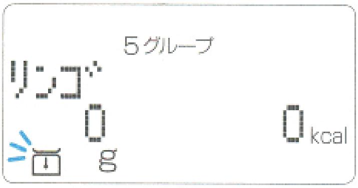


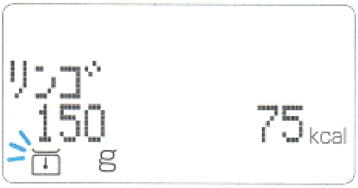
▲または▼を押す。

選択したい食品・料理名を表示させ 決定 を押します。

※ 選択を間違えた場合は、 を押し、2（食品・料理名を選択する）からやり直してください。

※ ▲▼◀▶はそれぞれ、押し続けると高速に移動します。





3. 食品をのせる。

8888 を表示後、0 になったら食品をのせてください。 マークは点滅しています。

※ カロリーは、小数点以下四捨五入で表示されます。

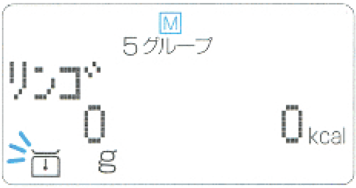
4. メモリー加算（減算）する。

M 加算（**M 減算**）を押す。

メモリーに加算（減算）されると『加算済』（『減算済』）が表示されます。

※入力を間違えた場合は、『加算済』（『減算済』）が表示されている間に 訂正 を押すと、メモリー内容は前の状態に戻ります。

※計量値（g）が4g以上変化したり、キーが押されたりすると、『加算済』（『減算済』）が消えて訂正できなくなります。



5. メモリー加算（減算）を終了する。

食品を計量皿から下ろすと『加算済』（『減算済』）が消えてメモリー加算（減算）が終了します。他の食品の計量時もメモリー内容が0以外の場合、M マークが点灯します。

【ご注意】

※グループのメモリーは“0”以下にはなりません。

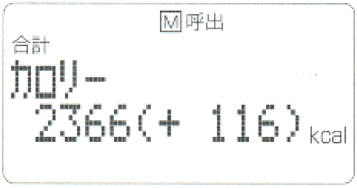
※合計で99,990kcalまでメモリーできます。

※料理の場合、各グループのカロリーデータがメモリーされます。

■メモリー操作：メモリー呼び出し

メモリー呼び出し機能とは、メモリーされたデータ（摂取カロリー）を表示させる機能です。

M 呼出 を押すごとに、合計、グループ1～5（⇨ 12ページ）、手動入力の内容で順次表示します。



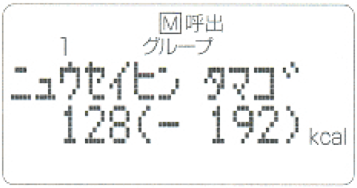
1. メモリー呼び出しモードにする。

M 呼出 を押す。

メモリーした合計のカロリーとの差が表示されます。

※（　）内に一日の必要カロリーとの差を表示します。表示例ではメモリーの合計が2366kcal、一日の必要カロリーより116kcal多いことになります。

※差が±9990kcalを超えると（EEEEE）を表示します。



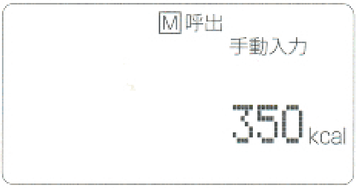
M 呼出 を押す。

メモリーした①グループのカロリーを表示します。

M 呼出 を押す。

メモリーした②グループのカロリーを表示します。

※以降、M 呼出 を押すごとに③グループ、④グループ、⑤グループと順次表示します。



M 呼出 を押す。

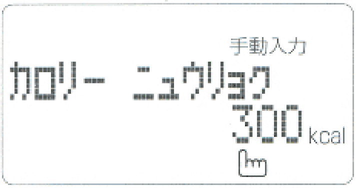
⑤グループ表示後、もう一度 M 呼出 を押すと、手動入力モード（⇨ 23ページ）で入力したカロリー値が表示されます。

2. メモリー呼び出しモードを終了する。

ON 切 を押す。

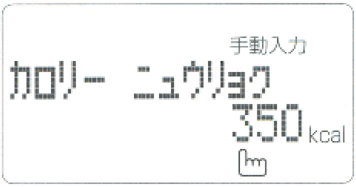
■メモリー操作：カロリー手動入力

食品・料理名選択モードにないもののカロリーをメモリーしたい時、または外食した時など、後からメモリーに加算したい場合に使用します。この操作でメモリー加算（減算）された場合はグループ分けはされません。



1. カロリー手動入力モードにする。

を押す。



2. カロリーを入力する。

の▲または▼を押す。

表示内容を任意のカロリーに合わせます。

※ ▲▼キーを押し続けると高速に数字が変わります。（1～5000kcalまで入力できます。）

ここで M 加算（M 減算）を押すと、

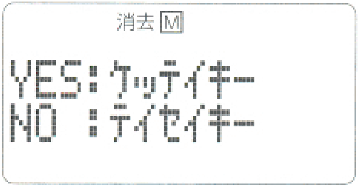
表示内容がメモリーに加算（減算）されます。

3. カロリー手動入力モードを終了する。

ON を押す。

■メモリー消去

メモリーは、必ず毎朝消去してください。消去しないと、前日までのメモリー内容に加算（減算）することになりますので、ご注意ください。



1. メモリーを消去する。

M 消去 を押す。

左の画面が表示されます。

決定 ：メモリー内容を消去後､通常画面に戻ります。
M マークが消えます。

訂正 ：メモリー内容を消去せず､通常画面に戻ります。

■「故障かな？」と思ったら

修理をご依頼される前に下記の箇所をご確認ください。

症　状	ご確認ください	参照ページ
電源キーを押しても何も表示しない	●乾電池が外れていませんか ●乾電池が消耗していませんか ●乾電池が正しく入っていますか	8
"デンチ ヲ コウカン シテクダサイ"を表示する	●乾電池が消耗しています	8
EEEEを表示する	●最大計量（ひょう量）1000gを越えています。	

■オートパワーオフについて

本器は、消し忘れによる電池消耗防止のため、表示部が約5分間変化しない場合（無操作）自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能を採用しています。（表示の変動が4g以内の場合、オートパワーオフ機能が働くことがあります。）

■基本仕様

形式・品名		TCK-003　カロリースケール
表　示		液晶表示
ひょう量		1000g
目　量		1g(～100g)　2g(～500g)　5g(～1000g)
安定所要時間		約2秒
電　源		乾電池　単3×6本
電池使用時間		約6ヶ月（一日60分使用）
外形寸法		幅250×奥行155×高さ45mm
質　量		約800g（乾電池、小皿含む）
付属品		取扱説明書(本冊子)、食品･料理名ブック、乾電池　単3×6本、小皿
精度保証範囲		0～100g；±2g　100～500g；±4g　500～1000g；±10g
設定範囲	性　別	オトコ、オンナ
	年　齢	6歳～100歳
	身　長	80～200cm
	体　重	10～200kg
	生活強度	1、2、3、4

アフターサービスについて

1、保証書について

保証書は、この商品に同梱しておりますので必ず「販売店名、購入日」等を漏れなくご記入の上、保証書内容をよくお読みいただき、投函してください。ご返送された保証書は弊社にて確認の上、後日お送り致します。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2、修理を依頼されるとき

●保証期間中は弊社お客様サービス相談室へお電話にてご連絡の上保証書を添えて製品をお送りください。

●保証期間が過ぎているときは弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって製品の機能が維持できる場合はご希望により有料修理させていただきます。

3、ご不明な点は弊社営業所またはお客様サービス相談室にお問い合わせください。

無 料 修 理 規 定

1、取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

2、保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社お客様サービス相談室に連絡の上、商品と保証書をお送りください。

3、ご贈答品等で本保証書に必要事項が記入してない場合には、弊社お客様サービス相談室へご相談ください。

4、保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。

イ、使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷

ロ、お買い上げ後の落下等による故障及び損傷

ハ、火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷

ニ、一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、船舶の搭載）に使用された場合の故障及び損傷

ホ、保証書の提示がない場合

ヘ、保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

5、保証書は、日本国内においてのみ有効です。

6、保証書は、再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

※ 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間後の修理についてご不明の場合は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

保 証 書

販売店様へ

ご販売時に貴店にて、保証書の所定事項(お買い上げ日、販売店様欄に捺印)をご記入の上、お客様にお渡しください。

お客様へ

本書は、無料修理規定により無料修理を行う事をお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、弊社お客様サービス相談室に修理をご依頼ください。

品　　名	TCK-003　カロリースケール
保 証 期 間	本体　お買い上げ日より1年間
お買い上げ日	年　　月　　日

販売店	住所・店名 電話番号　　　(　　　　)
お客様	ご住所 お名前　　　　　　様 電話番号　　　(　　　　)

正
家庭用
経済省令適合マーク

総合検査印
総合検査
金藤

株式会社 タニタ

本社・東京営業所	〒174−8630	東京都板橋区前野町1−14−2	☎03 (3558)8111(代表)
大 阪 営 業 所	〒577−0013	東大阪市長田中1−3−15	☎06 (6784)2811(代表)
名 古 屋 営 業 所	〒460−0002	名古屋市中区丸の内2−19−20	☎052(201)6391(代表)
福 岡 営 業 所	〒816−0082	福岡市博多区麦野4−2−6	☎092(575)5761(代表)
仙 台 営 業 所	〒983−0852	仙台市宮城野区榴岡1−6−8	☎022(299)7161(代表)
札 幌 営 業 所	〒007−0834	札幌市東区北34条東22−1−35	☎011(786)5611(代表)

ホームページアドレス　http://www.tanita.co.jp

お問い合わせ先
フリーダイヤル　0120-133821
受付時間 / 9：00〜18：00（土・日・祝祭日は除く）
お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町 1-14-2

21166801 (2)